

NPO 法人市民福祉団体全国協議会 Tel 03-6809-1091 fax 1093



★「すみちゃんの家」が再建・オープンへ

★お願い

★自治体の機能不全・地域支えあい体制づくり事業（田中尚輝ブログより）



イギリス研修（10月9日出発）あと2人で締め切ります。

.....

「すみちゃんの家」が再建・オープンへ

市民協会員の皆さま、ありがとうございました。伊藤寿美子

6月18日に東松島市の「すみちゃんの家」を田中尚輝が訪問してきました。伊藤寿美子さんのご自宅であった建物がきれいにリフォームされていました。この日はちょうど3月11日からの100日忌。この前日に大工さんに入ってもらって完成したとのこと。

このようになるには、延べ600人のボランティアが泥かきに入り、再生の協力をしました。最初はあまりの状態に茫然自失だったのですが、立派に元通りになりました。

伊藤理事長は介護保険事業所（デイサービス）の再開申請をしており、間もなく許可がおりそうです。伊藤理事長は「市民協の皆さんを始めとした励まし、ボランティア、支援金により、このようになりました。ありがとうございました。」という伝言をいただいて帰ってきました。（田中尚輝）

「ささえ愛山元」が再生へ

市民協総会にも「現地報告」で参加してくれた「ささえ愛山元」の中村怜子理事長が元気に活動を始めました。中村さんは元のデイサービスの場所には最近まで近寄ることができませんでした。そこで14時間も水の中に浸って、また、目の前の保育園の園児と母親を救ったものの何人かは津波に流されているのを目の当たりにしているわけですから、やむをえないでしょう。

しかし、全国の市民協のみなさんの励ましにより、中村さんがエネルギーを取り戻し、もとのようにしていこうとしています。市民協、「東日本大震災復興 NPO 支援・全国プロジェクト」では、すでにボランティアを派遣して泥出しを始めました。

中村さんは、「風呂」と「流し」が欲しいと言っています。皆で「たすけ愛山元」の復興を応援しよう。市民協は皆さんの支援金からたすけ愛山元へ寄付をすることになりました。

お願い

子供たちに浴衣をお譲りください！！

『語り場・たまり場』として運営中の被災者住宅の集会所企画案で7月下旬に（オカリナと蛍と流しソーメンのタベ）を考えています。つきましては、震災で全てを失った子供達に浴衣を着せてあげたいと考えています。

皆様方の家に仕舞い込んでいる子供の浴衣、帯、下駄などありましたらお譲りくださいませんかでしょうか。毎々、お願いばかりで誠に恐縮千万ですが、何卒ご協力願います。

※子供の数は乳幼児から学齢児童まで約40名ほどですが、男女、体格様々ですので若干多めに用意できたらと思います。

※お送りいただける場合は、前もってご連絡ください。

***** ありがとう おたがいさま *****

〒319-1538 茨城県北茨城市華川町小豆畑1141番地1

支援を求めている人がいます

(東日本大震災復興NPO支援・全国プロジェクト仙台事務局MMより)

仙台事務局開設当初、約1ヶ月事務局を手伝ってくださった吉澤氏からの情報です。石巻エリア(雄勝・牡鹿・市街地)で、現場のニーズに合わせた支援活動を展開しているトモノテ東日本大震災プロジェクト(<http://tomonote00.blogspot.com>)が下記の物資の支援を求めています。

- ・ 漁船(船体30尺以上、エンジン100馬力以上を希望)
- ・ 釜やコンロ等の設備(海藻等を茹でられるもの)
- ・ 移動式キッチンカー
- ・ 支援金 などです。

彼は、物資の提供ばかりでなく、その先にある自立に向けた産業復興活動として、少人数グループによるワカメ養殖の開始や、女性チームによる眠っている地域資源の掘り起こしとそれを生かした生業づくりにも取り組んでいます。ご支援、よろしくお願ひします。

第25回 新松戸まつり

ふれあいネットまつどさん参加！！

7月16日～17日に開催される「第25回新松戸まつり」に東日本大震災支援を目的として出店の予定。

当日ボランティア参加募集中ですご協力をお願いいたします。

詳細はこちらから <http://www.seniornet.ne.jp/2011/06/91.html>

自治体の機能不全・地域支えあい体制づくり事業

[田中尚輝ブログ2011年06月21日(火) <http://blog.canpan.info/tanaka-naoki/>]

地域支えあい体制づくり事業が行き詰っている。すでに事業開始をしていてよいのだが、都道府県がまず市町村に「手あげ方式」で募集しているのだが、手をあげる基礎自治体がないのだ。

買い物難民が600万人、孤立死が3万2千人も年間に出てくるようになり、地域社会が崩壊状況にあることを何とかしようということで200億円の基金が設定され、本年度1年間の事業として実施されることになっている。

地域崩壊についてもっとも考えなければならないのは基礎自治体だろう。だから都道府県は各自治体に「提案」をするようにという「手あげ方式」にして待っているのだ。

ところが基礎自治体から案があがってこないのだ。私の知っている範囲で大きな人口を持つ県でいえば、与えられた予算(3億円から8億5千万円)の10%程度しか手が挙がっていない。

基礎自治体の職員のやる気のなさの反映だ。市民に対して責任を持とうとしていないのだ。

さて、NPOはどうするか？

自治体ができないならNPOがやればよいではないか。NPOは地域に密着しており、地域のささえあい体制をつくるアイデアはいくらでもあるだろう。その一番はコミュニティカフェだろう。また、食事サービスや移動サービスの構築もいだろう。

自治体の側も自分でアイデアがなければNPOに任せることだ。決して「わが自治体は、この事業に参画しない」などという馬鹿な決定はしないこと。せつかく国が予算を付けたのだから、有効に使うことだ。

ここでNPOの能力が問われている。「提案力」「自治体を説得する能力」が必要だ。試されているのは自治体だけではない。NPOもその俎上に乗っているのだ。

東日本大震災支援金送付先

《お願い》恐れ入りますが、支援金送付の際に、特定非営利活動法人や NPO 法人という法人格は省いてください。また領収書が必要な場合には事務局までご連絡ください。

市民協 東日本災害支援 支援金口座 送金先 : 三井住友銀行 浜松町支店
(普通) 9101171 口座名 特定非営利活動法人 市民福祉団体全国協議会



グランマリバーサイド立川
[高齢者賃貸住宅入居者募集中です！！](#)

詳細はこちらから

<http://www.granma.jp/riverside-t/index.html>

★介護サービスさくら ★おもいやり支援センターくまの ★グリーンコープ ★
★たすけあい佐賀 ★全労済 ★宅老所を全国に広める会 ★
★一般社団法人 市民事業支援機構★